

## 退任挨拶

前会長

佐藤 廣 士



皆様、ご紹介をいただきました佐藤でございます。

今日、2年間の務めを終え、このたびの総会で退任することになりました。在任中は大変お世話になり、ありがとうございます。御礼を申し上げます。

私は大した仕事はできませんでしたが、ただ唯一、成果といえるのは、スタッフの皆さん方の邪魔をしなかったということでありましょうか。その意味では十分合格点を与えられると、変な評価をしておる次第であります。

ともあれ、今回、日本知的財産協会という中に入り、改めて知的財産部隊が、大変真面目で、情熱的で、専門性を持つ頭脳集団である、そして、世間が思っているよりも、もっともっと会社の経営について考えていることを確認でき、大変うれしく思います。経営に寄り添う知財という考え方が大変重要であります。この2年間で、経営陣も知財のことを勉強してもらい、互いに寄り添うことが重要と思うようになりました。

時代は大きく変化しております。次々に出てくる新しい技術、そして、グローバル化はもっと進むでしょう。AIやIoTなどの普及で、仕事の仕方も変わってくるでしょう。知財も変わらなければなりません。今日ここにお集まりの皆様方が、具体的な課題を見出して、個人個人としてどう変革するかを考えていただきたいと思います。

日本知的財産協会全体としては、知財は「高度な技術思想」であり、「法律よりビジネスに寄り添うもの」と考えることが重要だと感じました。法律を軽んじるということではありません。知的財産を純粋な会社の財産として、ビジネス上、柔軟な考え方や取り扱いをするのが大事であるという意味であります。

そして、我が国の知的財産の行く末を考えるのが、政府の特許庁と我々民間のJIPAであります。両者は同じ方向に向かっていく車の両輪だと言えましょう。今後も互いが活発な意見交換を通して、我が国の知財を価値あるものにしていただきたいと思います。

皆様方のおかげで、大過なくJIPAの会長を務めることができました。私にとって、大変光栄なことでもあります。改めまして、感謝と御礼を申し上げます。また、新しく就任される柵山会長を筆頭にJIPAがますます発展すること、そして、お集まりの皆様方のご活躍を心よりお祈り申し上げまして、退任のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。